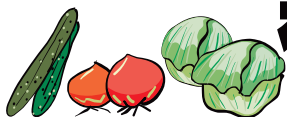


## 野菜編



# 新鮮な野菜で 健康づくり

- ①目的とする作物以外に農薬がかかるドリフト(農薬飛散)に注意!
- ②農薬は最新の使用基準を守り使用する。
- ③散布器具に農薬が残っていないか確認する!
- ④近隣で栽培されている作物に注意する!
- ⑤集落一斉共同防除に伴う販売用野菜等の対応について

作物名	品種例	播種期	定植期	収穫期	栽植密度 単位: cm	施肥量坪(3.3㎡)当たり	栽培のポイント及び主要な病害虫の防除
なす (ナス科)	千両2号	—	5月上中旬	6月中 ~10月下旬		基肥: 完熟堆肥 5kg、苦土石灰 500g そさい3号 750g 追肥: 燐加安540 1回200g、5回施す	●連作できない(3年休む)ので、接ぎ木苗を買う。 ●果実は未熟果がおいく、過熟になると品質が低下する。できるだけ未熟果を早めに収穫するようにすると、株の負担も軽くなり全体の収量も増加する。 病害虫名: 灰色かび病(ダコニール1000)、アブラムシ(アドマイヤー水和剤)
トマト (ナス科)	桃太郎8夏麗	—	4月下 ~5月中旬	6月下 ~9月中旬		基肥: 完熟堆肥 10kg、苦土石灰 500g そさいS-1号 450g 追肥: 燐加安540 1回200g、3~4回施す	●連作できない(3年休む)ので、接ぎ木苗を買う。 ●根は深く、広く伸びるので、高畝にして排水を良くする。 ●トマトの房は同じ方向に着くので、植える時に花房を通路側の日当たりの良い方向に向けると、着色も良く管理しやすい。 病害虫名: 灰色かび病(ダコニール1000)
きゅうり (ウリ科)	よしなり夏すすみ	—	5月上中旬	6月上 ~7月下旬		基肥: 完熟堆肥 10kg、苦土石灰 500g そさい3号 400g 追肥: 燐加安540 1回100g、3回施す	●連作できない(2年休む)ので、接ぎ木苗を買う。 ●根が浅いので、梅雨明け後の乾燥に注意する。 ●株を疲れさせないため、早めに収穫する。特に、最初の頃あまり果実を大きくすると、上の雌花が落ちたり、曲がりが出やすい。 病害虫名: ペト病・うどんこ病(ダコニール1000)、アブラムシ(モスピラン水溶剤)
はくさい (アブラナ科)	黄ごころ65 黄ごころ75	8月中旬	9月上旬	10月下 ~12月上旬		基肥: 完熟堆肥 10kg、苦土石灰 500g そさい3号 400g 追肥: 燐加安540 1回150g、2回施す	●連作できない(2年休む)。 ●本葉3~4枚くらいの苗を植える。若苗ほど活着が良く、植えつけ後の生育も良いので、遅れないように心がける。 病害虫名: 白斑病(ダコニール1000)
キャベツ (アブラナ科)	(秋まき) 中早生2号 (夏まき) 藍宝2号	10月上旬 6月下~7月下旬	11月上旬 7月下~8月中旬	5月下~6月中旬 9月下~11月下旬		基肥: 完熟堆肥 5kg、苦土石灰 500g そさい3号 400g 追肥: 燐加安540 1回150g、2回施す	●湿害に対して、はくさいより弱いので高畝にして排水に注意する。 ●本葉5~6枚の苗をできるだけ根を切らないようにして掘り取り植える。 病害虫名: アオムシ・コナガ(ランネット45DF)
白ねぎ (ユリ科)	長宝夏扇4号	3月下 ~4月中旬	6月上 ~6月下旬	9月中 ~11月下旬		基肥: 完熟堆肥 10kg、苦土石灰 500g 鶏糞 1kg、そさいS-1号 100g 追肥: 燐加安540 1回100g、4回施す	●播種後、生育に合わせて間引き、株間を3~5cmにする。 草丈が35~40cm、太さがタバコ大になれば定植する。 ●葉の分岐部に土がかからないように、4~5回に分けて土寄せする。その際に、追肥も同時に行う。 病害虫名: さび病(ラリー水和剤)、ネギアザミウマ(ダントツ水溶剤)
だいこん (アブラナ科)	(春まき) 春のいぶき (秋まき) 耐病総太り	5月上旬 9月上旬	—	7月上~7月下旬 11月上 ~11月下旬		基肥: 苦土石灰 500g そさい3号 200g 追肥: 燐加安540 100g	●間引きは、播種後18~20日に1本にする。遅れると、残しただいこんの根を痛め、曲がりが出る。 ●追肥は播種後30日までにやり、遅れないようにする。 病害虫名: 軟腐病(Zポルドー)、アブラムシ・コナガ(ランネット45DF)
にんじん (セリ科)	向陽2号 夏時鮮紅5寸	4月中旬 7月下旬	—	6月下~7月上旬 10月中 ~12月中旬		基肥: 苦土石灰 400g そさい3号 300g 追肥: 燐加安540 1回100g、2回施す	●密植すると根の肥大が悪くなる。 ●草丈が5~6cmの頃から、2回に渡って間引き、株間を10~15cmにする。 病害虫名: 黒葉枯病(ダコニール1000)
ばれいしょ (ナス科)	(春植え) 男爵 キタアカリ メークイン (秋植え) デジマ	—	3月下旬	6月下~7月上旬 11月上 ~11月中旬		基肥: 苦土石灰 500g、鶏糞 1kg BMようりん 150g そさいS-1号 450g 追肥: 燐加安540 1回56g、2回施す	●連作できない(2年休む)。 ●種イモは大きさが鶏卵大なら2つ切りに、それ以上なら4つ切りにし、どの切片にも良い芽が均等につくように切断して用いる。 ●①草丈が15cm頃、②主茎につぼみが見え始める頃に土寄せを行う。その際に、追肥も同時に行う。 病害虫名: そうか病(フロンサイド粉剤/全面土壌混和)、アブラムシ(ランネット45DF)
たまねぎ (ユリ科)	ネオアース タポ	9月中旬	11月上旬	6月中~6月下旬		基肥: 苦土石灰 300g そさい3号 300g 追肥: 燐加安540 1回150g、2回施す	●播種後、本葉2枚くらいの頃、こみすぎたところを間引き、2cmくらいの間隔にする。 ●苗取りの前日に水やりをして床土を軟らかくしておき、根の傷みを少なくする。 病害虫名: ペト病(ダコニール1000)

詳しくは各JA支所までお問い合わせください。

# 野菜づくりで健康づくり



## 野菜づくりを始めよう

初心者はまず「葉菜類(葉を食べるもの)」からはじめ、徐々に「果菜類(実を食べるもの)」へ挑戦するのが王道です。

難易度	特徴と主な野菜
初級	栽培期間が短く、病害虫に強いいため、失敗が少ない。 コマツナ リーフタス ラディッシュ サツマイモ など
中級	栽培期間がやや長く、支柱立て、脇芽摘み、人工受粉などの管理が必要。 ミニトマト ピーマン ナス キュウリ ダイコン など
上級	栽培期間が長く、温度・水分管理や害虫対策がシビア。 キャベツ ホウレンソウ イチゴ メロン スイカ など



## 野菜の「科」による分類

野菜づくりにおいて「科」を意識することは、連作障害を防ぎ、病害虫の傾向を予測するために非常に重要です。

主な科目	主な野菜と特徴・注意点など
アブラナ科	ダイコン カブ キャベツ ハクサイ ブロccoli コマツナなど アオムシやコナガなど害虫が非常につきやすいため防虫ネットなどの対策が必要です。
ナス科	トマト ナス ピーマン トウガラシ ジャガイモ など 連作障害が出やすいので、一度植えた場所は3~5年間開けましょう。
ウリ科	キュウリ スイカ メロン ズッキーニ カボチャ トウガン ゴーヤなど 雄花と雌花が分かれていますので、人工受粉が必要なものもあります。乾燥にも過湿にも弱く、うどんこ病にかかりやすい傾向があります。
マメ科	エダマメ エンドウ ソラマメ インゲン アズキなど 根に「根粒菌」が共生しており、自ら肥料分(窒素)を作り出します。肥料を与えすぎると葉ばかり茂って実がつかない「つるボケ」を起こしやすいです。
キク科	レタス シュンギク ゴボウ キウイモ ヤーコン フキなど 涼しい気候を好み、病害虫には比較的強いです。
セリ科	セリ ニンジン パセリ セロリ ミツバ バクチャーなど 強い香りを持つのが最大の特徴です。ハーブとして使われるものも多く含まれます。
ヒガンバナ科	タマネギ ネギ ニンニク ラッキョウ ニラ ギョウジャニンニクなど アリシンという健康成分を豊富に含み滋養強壮に良いとされるものが多く、スタミナ料理や薬味として使用されます。(この科には観賞用のスイセンなど猛毒を持つ植物も含まれます。葉の形がニラやノビルに似ているため誤食事故に注意が必要です)
ヒコ科	ホウレンソウ ビーツ テンサイ オカヒジキなど ご存じポパイの大好物ホウレンソウが代表。鉄分、カルシウム、ミネラルが豊富です。



## JA氷見市の栽培マニュアル

主な野菜の基本的な作り方を載せてあります。詳しくは、JA氷見市各支店の営農指導員にお尋ねください。

JA氷見市 野菜こよみ



野菜名	品種	栽培方法	収穫時期	主な病害虫	主な病気
レタス	...	...	...	...	...
...	...	...	...	...	...

## 連作障害について



毎年同じ場所に同じ野菜(あるいは同じ「科」の野菜)を栽培すると、病原菌が多くなり、土壌の養分が不足したりして生育が悪くなります。

連作に弱いとされる作物 : ナス科(ナス トマト ピーマン ジャガイモなど)、マメ科(エンドウマメ インゲンマメなど)、ウリ科(スイカ、メロンなど)。

連作に強いとされる作物 : イネ科(トウモロコシなど)、ヒルガオ科(サツマイモなど)、ヒガンバナ科(タマネギ、ネギ、ニンニクなど)。

連作障害を回避するためには、輪作(毎年植える場所をずらしていく)によりひとつの野菜を同じ場所に栽培しない。接ぎ木苗の利用、土壌改良と微生物の活性化(牛糞堆肥などの有機物を投入し微生物のバランスを整える)などが効果的です。

連作を嫌う主な野菜の作付け間隔(休作期間)は下表のとおりです。

科名	代表的な野菜	休作期間	主な障害・症状
ナス科	トマト ナス ピーマン ジャガイモ	3~4年	青枯れ病、疫病、収量減など
ウリ科	キュウリ スイカ メロン ゴーヤ	2~4年	つる割れ病、センチュウ類
マメ科	エンドウ ソラマメ インゲン	3~5年	立ち枯れ病 生育不良
アブラナ科	キャベツ ハクサイ ブロccoli	1~2年	根こぶ病

## 肥料成分の3要素について

植物が健康に育つために特に必要とする栄養素のことで、チッソ(N)リン酸(P)カリ(K)を指します。野菜の種類によって、必要とする成分が大きく異なります。

チッソ(N) 葉や茎の中でタンパク質やアミノ酸の成分となり、成長を促します。  
リン酸(P) 生長の盛んな部分や花やつぼみ、種に多く、根の伸長にも大きな働きをします。  
カリ(K) 光合成を盛んにし、果実の付きや育ちを良くし、イモ類の品質を良くします。  
袋に記載の数字「15-14-10」などと書かれている数字は、この3要素の成分量(%)を示しています。

肥料名	記載数字	成分 100グラム に必要な肥料重量		
		チッソ	リン酸	カリ
野菜の達人(やさい燐化安S540)	15-14-10	670g	715g	1000g
そさい3号プレミア	15-15-15	670g	670g	670g
硝化燐安333	13-13-13	770g	770g	770g

計算式(例) 求める成分量(100g) ÷ 成分量%(15%) = 必要とする肥料重量(667g)

## こちらをご覧ください



## タキイの栽培マニュアル

タキイ種苗(株)の「家庭菜園 野菜栽培マニュアル」は、野菜の栽培方法を初心者にもわかりやすくイラストや画像を使い説明しています。これから家庭菜園を始める方やさらに栽培技術を向上したい方、直売所に品質のよい野菜を出荷したい方まで幅広くご利用できます。

タキイ種苗



タキイのタネは、JA氷見市各支店・JAグリーンひみでお求めください。

# 農薬使用は正しく効果的に

## 野菜の病気や害虫を防ぐには

病気や害虫を「寄せ付けない環境づくり」と「早期発見・早期対策」の2点が基本になります。

分類	主な対策
耕種的な防除 (発生させない環境)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・風通しと日当たり : 湿気を好む病気や虫を防ぐため、株の間隔を空け、風通しを良くします。</li> <li>・連作を避ける : 同じ科の野菜を続けて植えない(連作障害の回避する)ことで特定の病害虫の定着を防ぎます。</li> <li>・土づくり : 堆肥などを用いた健康な土で育て、植物の抵抗力を高めます。</li> <li>・接ぎ木苗の利用 : 土壌病害に強い品種に接ぎ木した苗を利用する。</li> </ul>
物理的な防除 (寄せ付けない)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防虫ネット・寒冷紗 : 苗を植えた直後から覆い、害虫の侵入を遮断します。</li> <li>・シルバーマルチ・アルミマルチ : アブラムシなどが光の反射を嫌う性質を利用します。</li> <li>・粘着シート : 粘着シートを設置し、飛んでくる害虫をとらえます。</li> </ul>
自然・化学的防除 (もし発生したら)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自然農薬 : 初期段階なら、重曹水(うどんこ病)や酢(害虫忌避)・牛乳スプレー(アブラムシ)など、身近な資材を活用した防除も有効です。</li> <li>・化学農薬 : 被害が広がる場合は、対象の病害虫に適用のある農薬を正しく使用しましょう。</li> </ul>

## 農薬を使うにあたって

農薬は、「正しく使い、正しく記録する」ことが基本です。まずは、購入した農薬のラベルを隅々まで読むことから始めましょう。

分類	主な対策
ラベルを絶対順守	<p>「農薬取締法」により、使える作物の種類・量・回数・時期が厳格に決まっています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・対象作物 : その農薬が使おうとする作物に登録があるか必ず確認してください。</li> <li>・使用方法 : 希釈倍数や収穫までの使用可能日数をラベル通りに守ってください。</li> </ul>
ポジティブリスト	<ul style="list-style-type: none"> <li>・作物からラベルに記載のない(適用の無い)「残留農薬成分」が0.01ppm(1億分の1=100トンに対して1g)以上検出された場合、出荷停止等の対象になる場合があります。</li> <li>・使用にあたっては、隣接地へ農薬が飛散(ドリフト)しない対策が必要です。</li> </ul>
トレーサビリティ (生産履歴の記録)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・トレーサビリティ(追跡可能性)を確保するため、「いつ・どこで・どの農薬を・どのくらい使ったか」を必ず記録しましょう。市場や直売所などへ出荷する場合は必須です。</li> <li>・万が一出荷した野菜から残留農薬が検出された場合、原因を特定し、安全性を証明するために不可欠です。</li> </ul>

## JA氷見市果樹・庭木防除こよみ

主な果樹の基本的な作り方を載せてあります。詳しくは、JA氷見市各支店の営農指導員にお尋ねください。

JA氷見市果樹防除



## 防除適期は逃がさず!

作物	病害	防除適期	薬剤
リンゴ	うどんこ病	開花後10日以内	重曹水
	葉斑病	開花後10日以内	重曹水
	葉巻病	開花後10日以内	重曹水
	葉枯病	開花後10日以内	重曹水
桃	葉斑病	開花後10日以内	重曹水
	葉巻病	開花後10日以内	重曹水
	葉枯病	開花後10日以内	重曹水
	葉斑病	開花後10日以内	重曹水
柿	葉斑病	開花後10日以内	重曹水
	葉巻病	開花後10日以内	重曹水
	葉枯病	開花後10日以内	重曹水
	葉斑病	開花後10日以内	重曹水

## よく使われている農薬

農薬は、「ラベルに記載されていない作物には使用してはいけません」。

使用するときは、ラベルをよく読んで、

・「希釈倍数」「使用量」「収穫前日数」を守って使用してください。 ・「適用病害名・害虫名」欄にその「病気・害虫名」が記載されていない場合は効果が期待できません。他の薬剤の使用を検討してください。

用途	農薬名	主な用途
殺菌剤	ダコニール1000	うどん粉病、べと病、炭疽病など非常に多くの病害に適用があり、耐性菌が出にくいのが特徴。
殺菌剤	オーソサイド水和剤80	立ち枯れ病や斑点細菌病など、広範な病害に予防効果を発揮。
殺菌剤	ジマンダイセン水和剤	幅広い病害防除に役立つ保護殺菌剤。発病前に散布するのがポイント。
殺菌剤	アミスター2070アブル	べと病、疫病、炭疽病などに高い効果。野菜登録が非常に多い定番の薬剤
殺菌剤	ベンレート水和剤	カビによる病気に幅広く効き、種子消毒や苗の消毒にも利用。
殺虫剤	オルトラン水和剤・粒剤	低毒性の浸透移行性有機リン殺虫剤。吸汁性・食害性の害虫に効果。
殺虫剤	トレボン乳剤・粉剤・他	合成ピレスロイド系殺虫剤。即効性に優れ、幅広い害虫に効果。
殺虫剤	モスピラン顆粒水溶剤	<b>劇物</b> 。社コジノイ`系殺虫剤。希釈倍率が高く、少ない薬量で幅広い害虫に効果。
殺虫剤	スミチオン乳剤	有機リン系殺虫剤。水稻や果樹・野菜など、広範囲の害虫防除に用いられる。
殺虫剤	ダントツ水溶剤・粒剤・他	社コジノイ`系殺虫剤。幅広い害虫に高い防除効果が長期間持続する。

くわしくは、各支店営農指導員までお尋ねください。

こちらをご覧ください

## タキイ種苗(株)公式サイト

野菜やお花栽培の有益な情報が盛りだくさん。品種の選び方から上手な作り方、病害虫・生理障害についてなど、画像や動画でわかりやすく構成されています。



タキイ種苗

スマートフォンアプリ

## レミーのAI病害虫雑草診断

無料



見つけて

AI診断 AI予察

調べて

図鑑機能

対処する

農薬紹介

- ① 病害虫雑草を判別し、その生態と防除方法を解説!
- ② 独自のデータを基に AI が予察情報を配信!
- ③ 農薬メーカー6社、約400剤から最適な農薬を紹介!
- ④ 圃場の病害虫雑草の記録を残せる!
- ⑤ 対応作物は随時拡大中!

アプリのダウンロードはこちら

